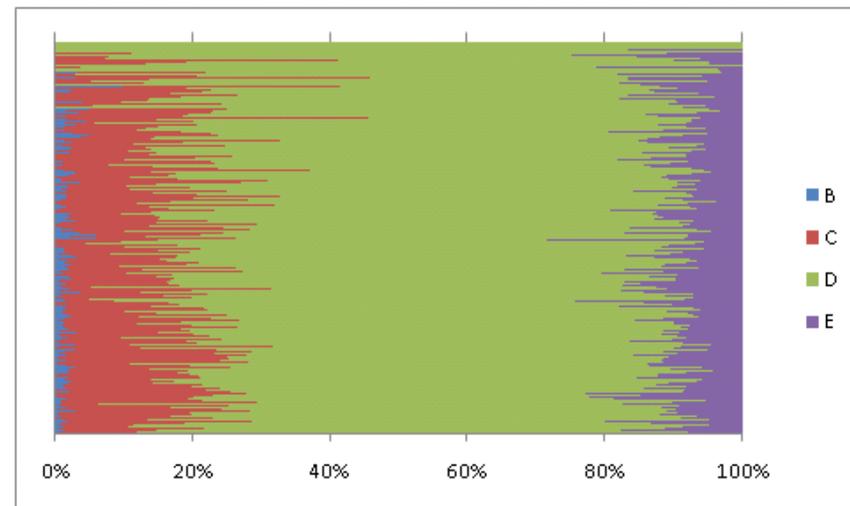
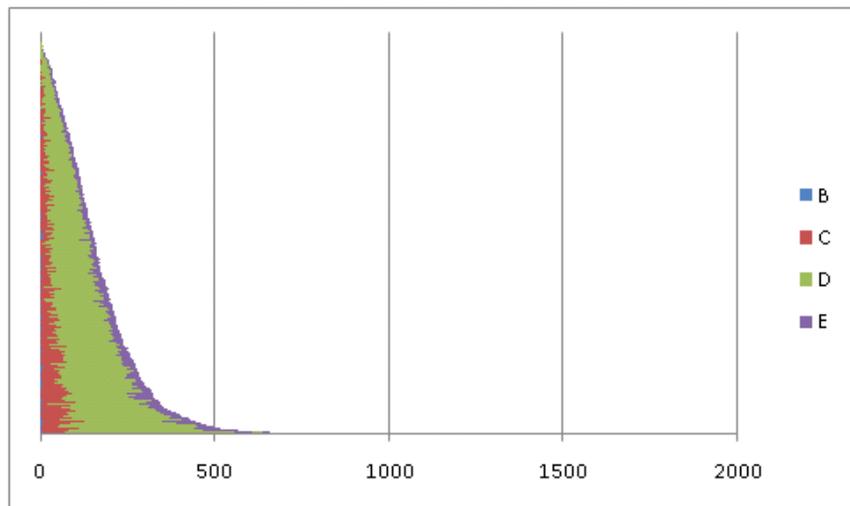


MDC6関連手術

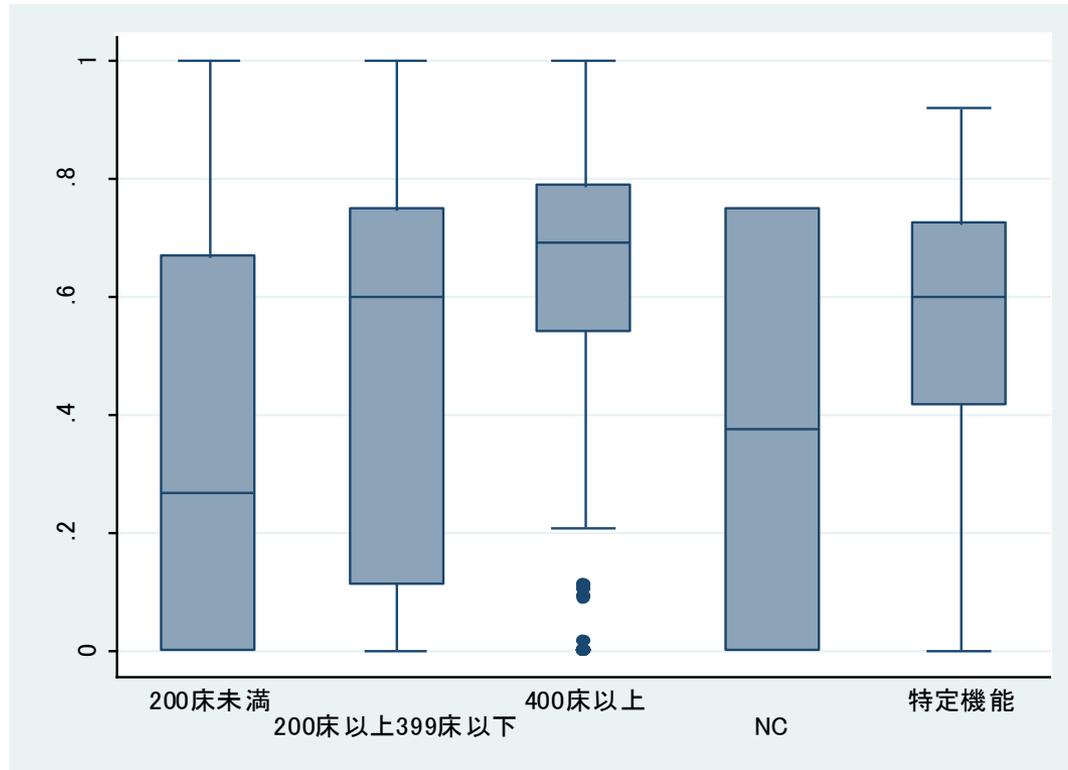
「空腸・回腸・盲腸・虫垂・結腸」「直腸」「肛門・その他」



その他の項目の考え方

- 質の評価指標
 - 構造(ストラクチャー)
 - 過程(プロセス)
 - 結果(アウトカム)
- 上記のうち、アウトカム評価については重症度を完全に補正する方法論がない現状で公開することは誤解を招く恐れがある
 - 諸外国の状況を参考に過程(プロセス)に関連した指標を作成し、公開することを評価したらどうか。例えば、アメリカCMSやフランス、ドイツで採用されている指標などはどうか？

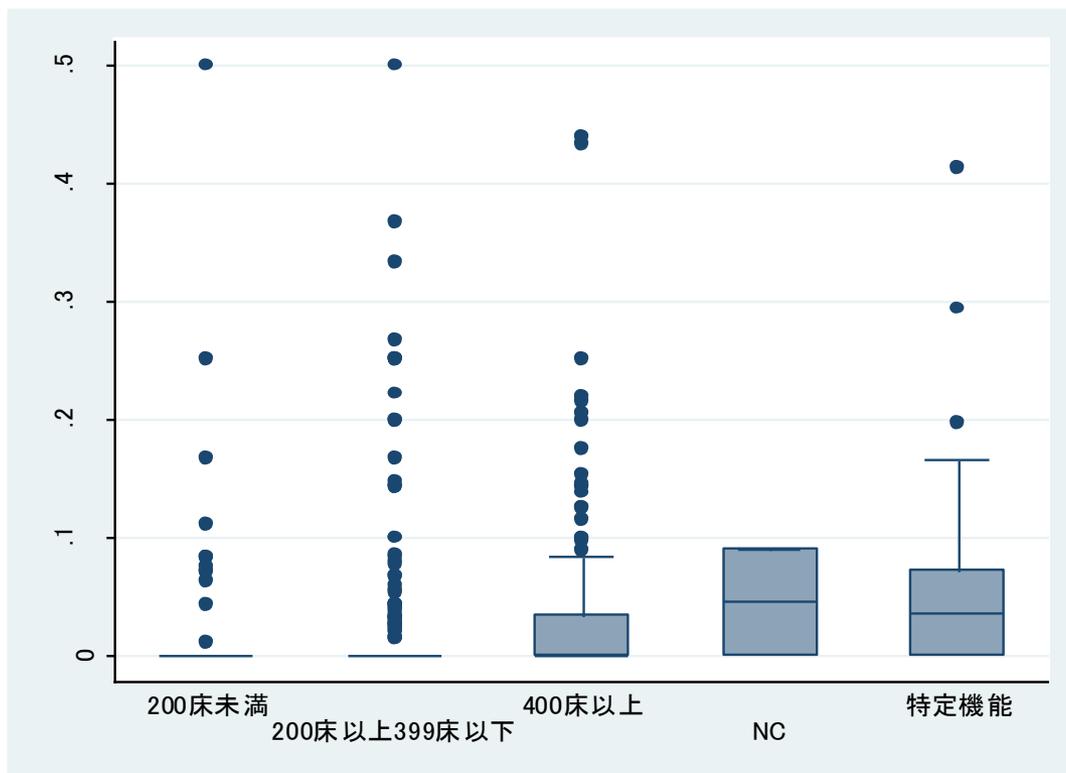
急性心筋梗塞入院時のアスピリン投与



分子:入院日にアスピリン(合剤を含む)が処方された患者数
分母:DPC 050030の患者数

深夜の入院もあるので、翌日も含めた方が良いか？

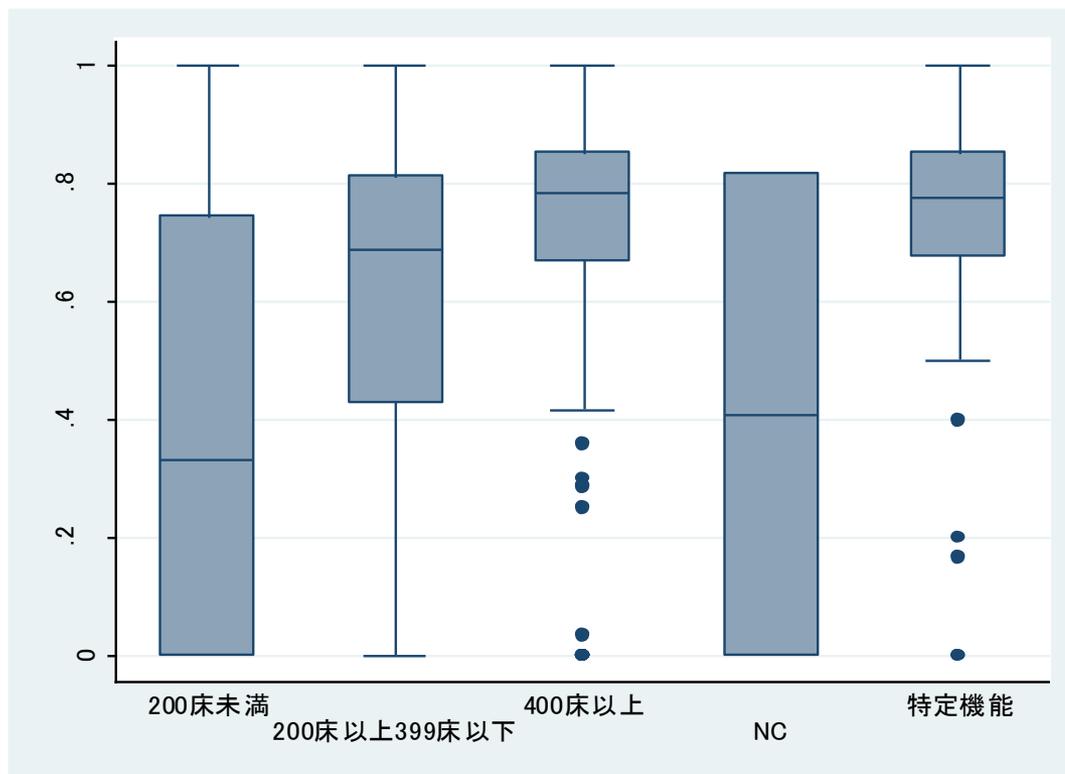
急性心筋梗塞入院時の β ブロッカー投与



分子: 入院日に β ブロッカーが処方された患者数
分母: DPC 050030の患者数

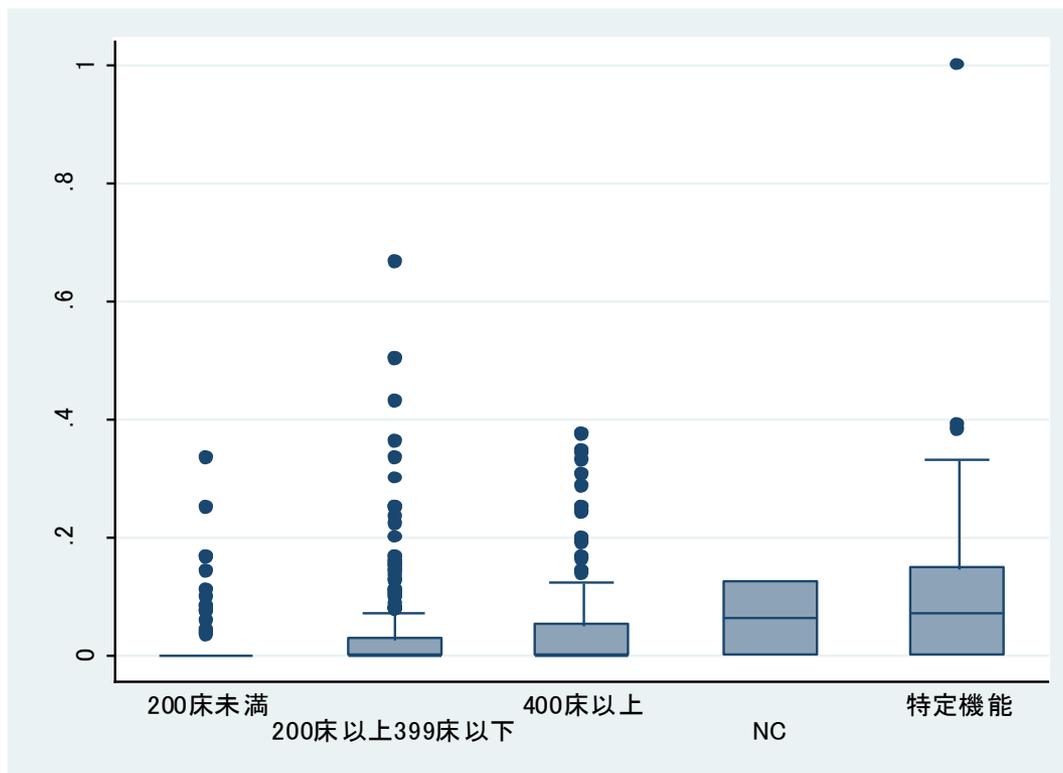
深夜の入院もあるので、翌日も含めた方が良いか？

急性心筋梗塞退院時のアスピリン処方



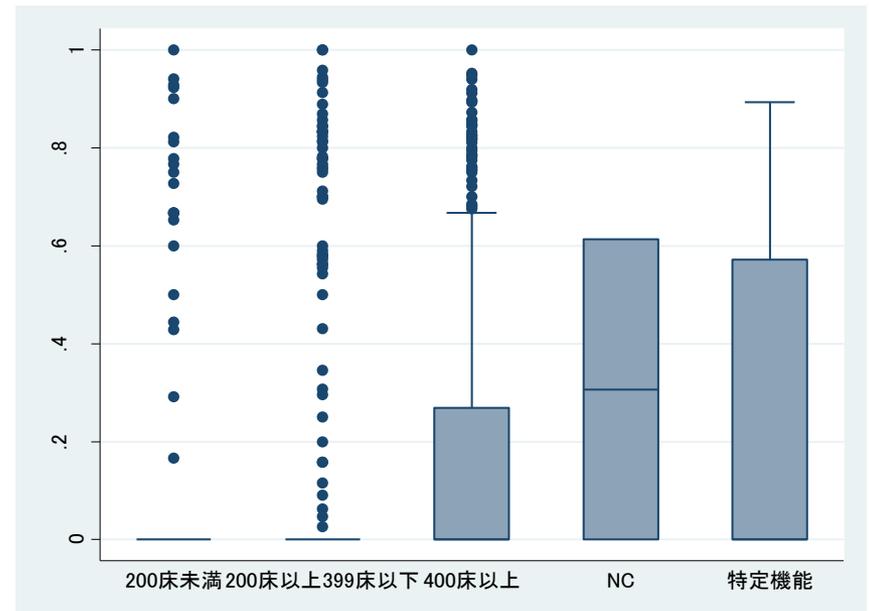
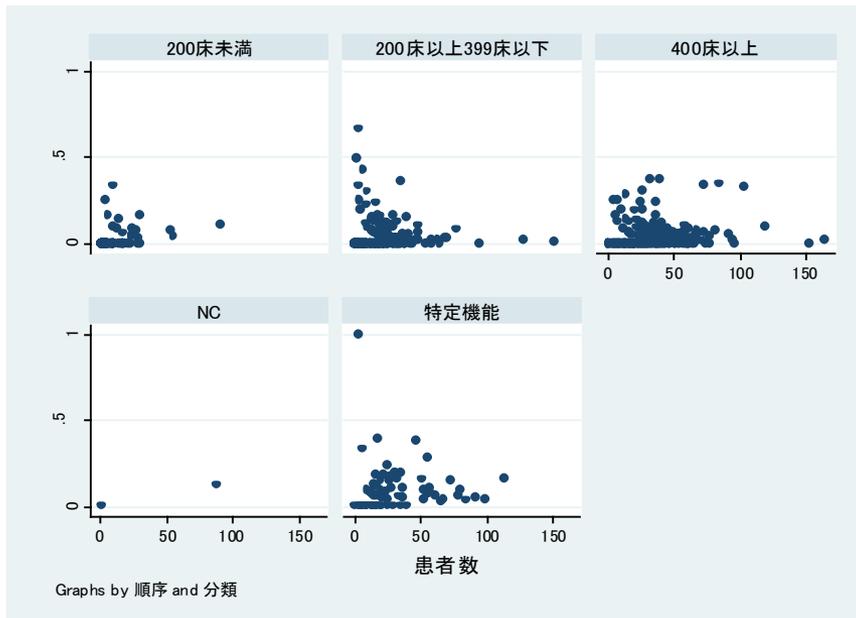
分子: 退院時にアスピリンが処方された患者数
分母: DPC 050030の患者数

急性心筋梗塞退院時のβブロッカー処方



分子: 退院時にβブロッカーが処方された患者数
分母: DPC 050030の患者数

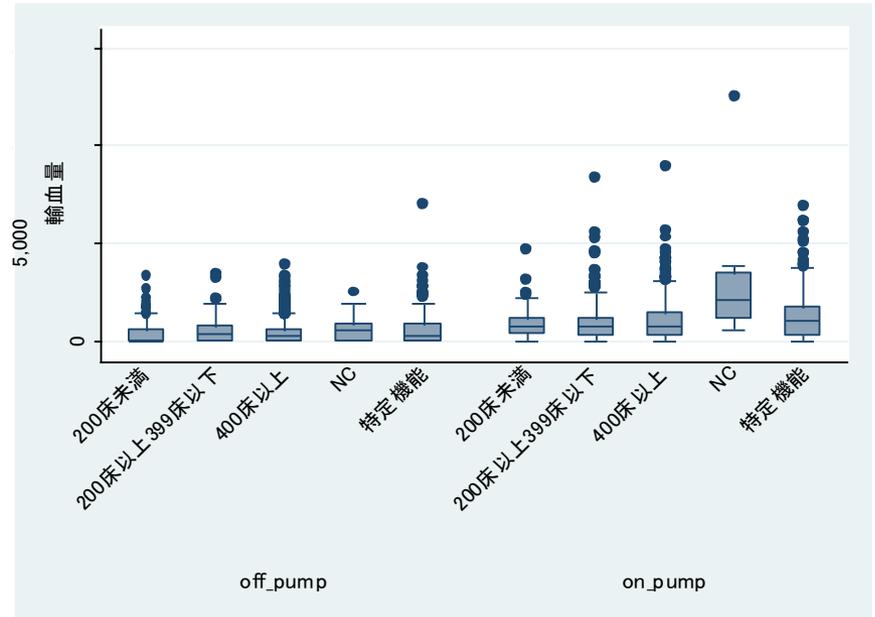
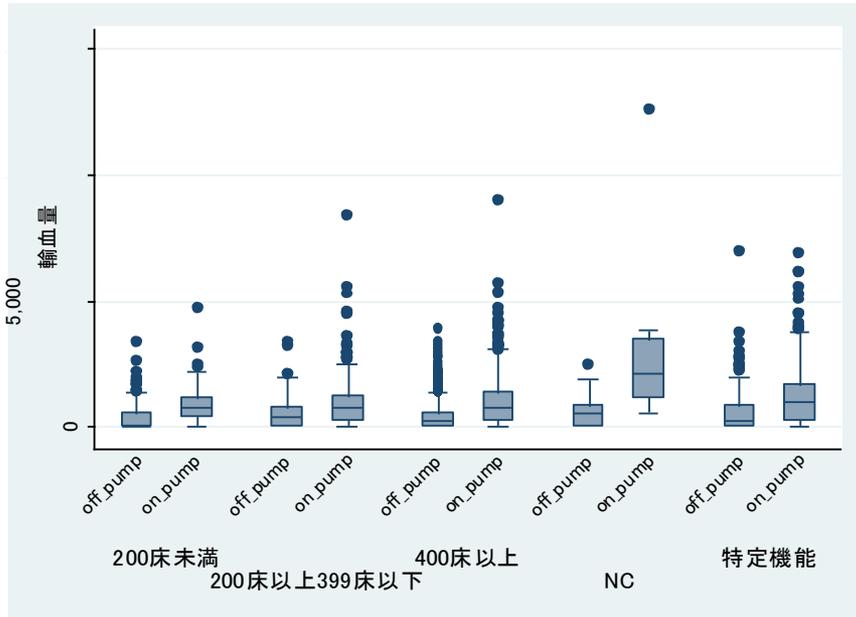
急性心筋梗塞の 心大血管疾患リハビリテーション



分子：入院中に心大血管疾患リハビリテーションが行われた患者数
分母：DPC050030患者数

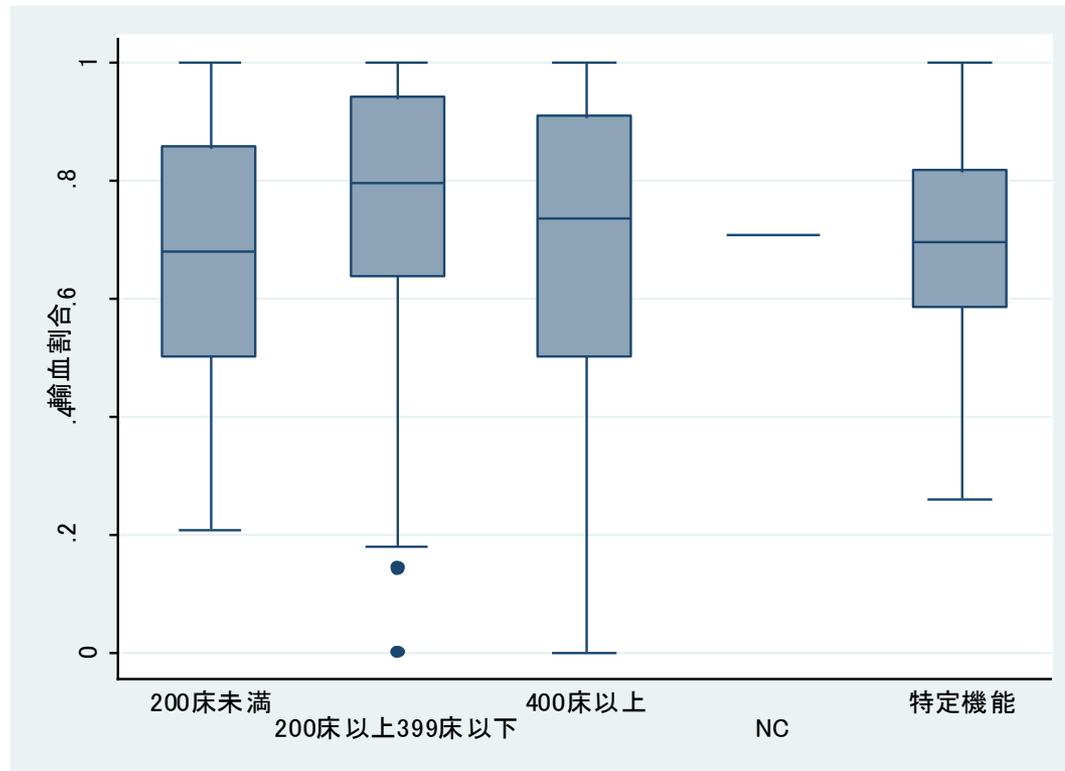
注：心リハの算定病院が少ない(187/735)

CABG時の輸血量



症例ごとの術日の輸血量

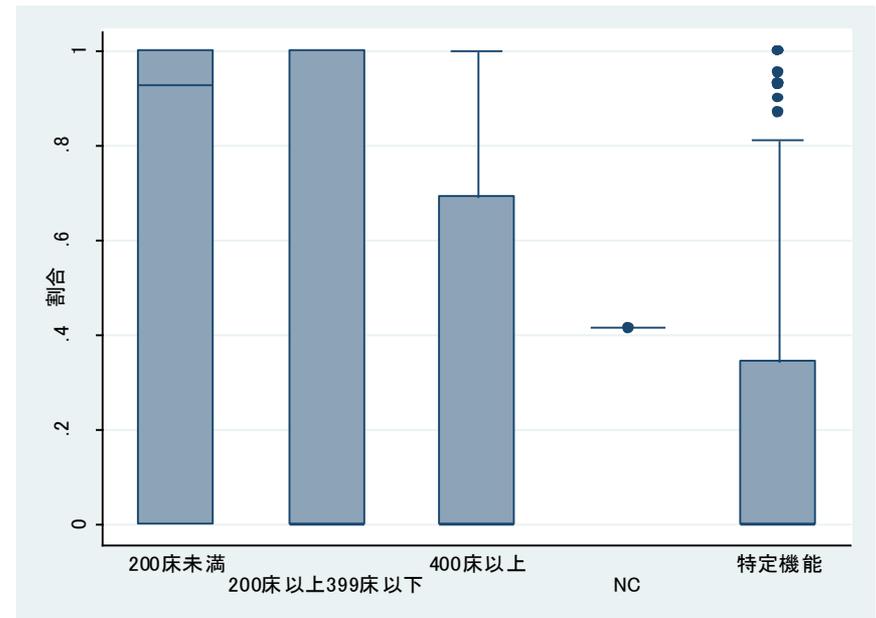
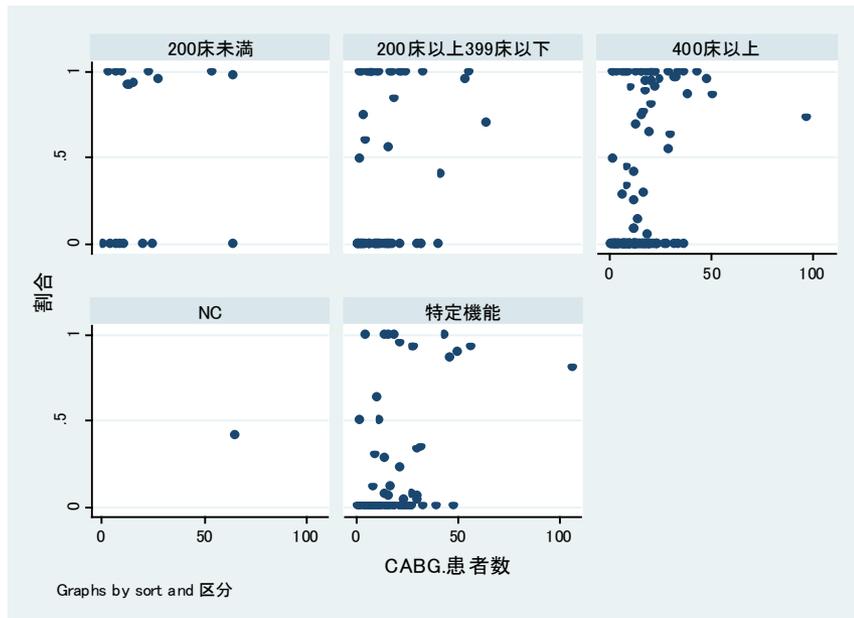
off-pump CABGの輸血頻度



分子: 輸血あり患者数

分母: off-pump CABG患者数

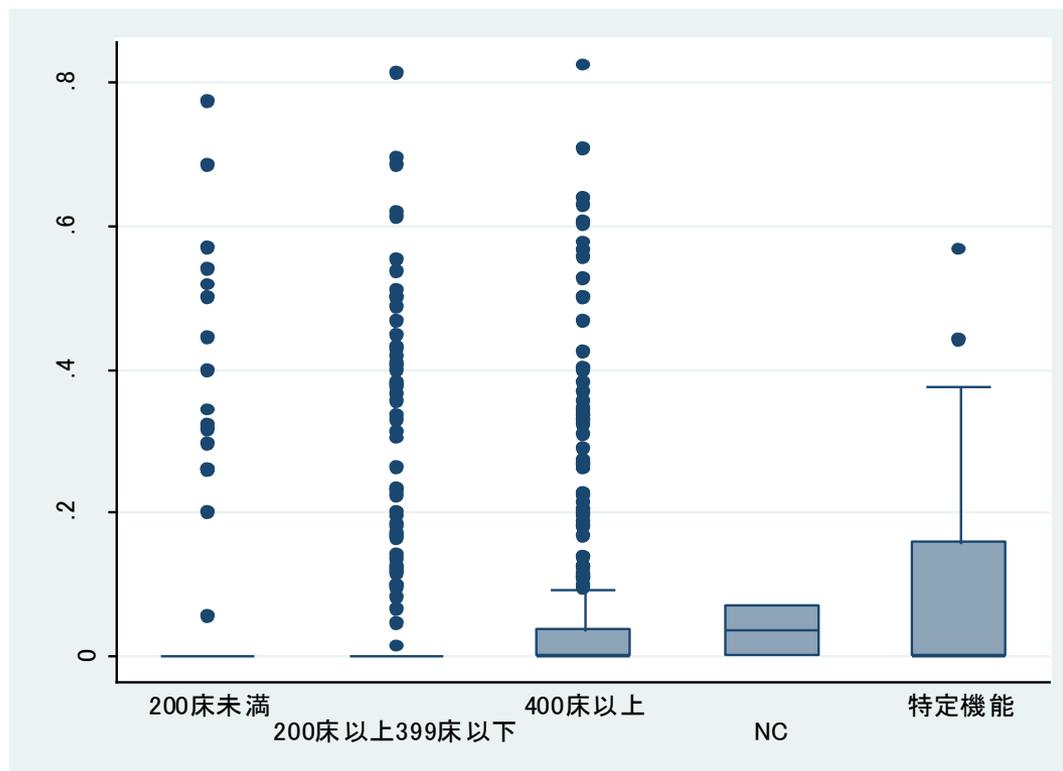
CABG後の 心大血管疾患リハビリテーション



分子: 心大血管疾患リハビリテーションが行われた患者数
分母: CABG施行患者数

注: 心大血管疾患リハビリテーションの算定病院が少ない(117/290)

心不全の 心大血管疾患リハビリテーション

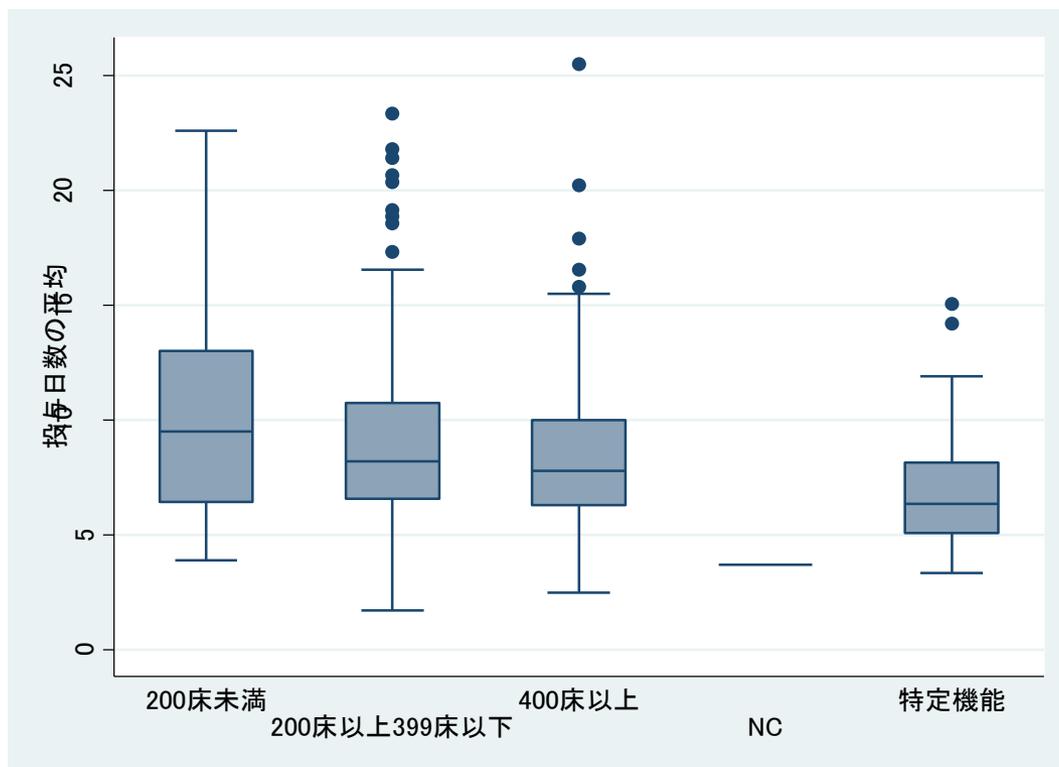


分子：心大血管疾患リハビリテーションが行われた患者数

分母：DPC050130患者数

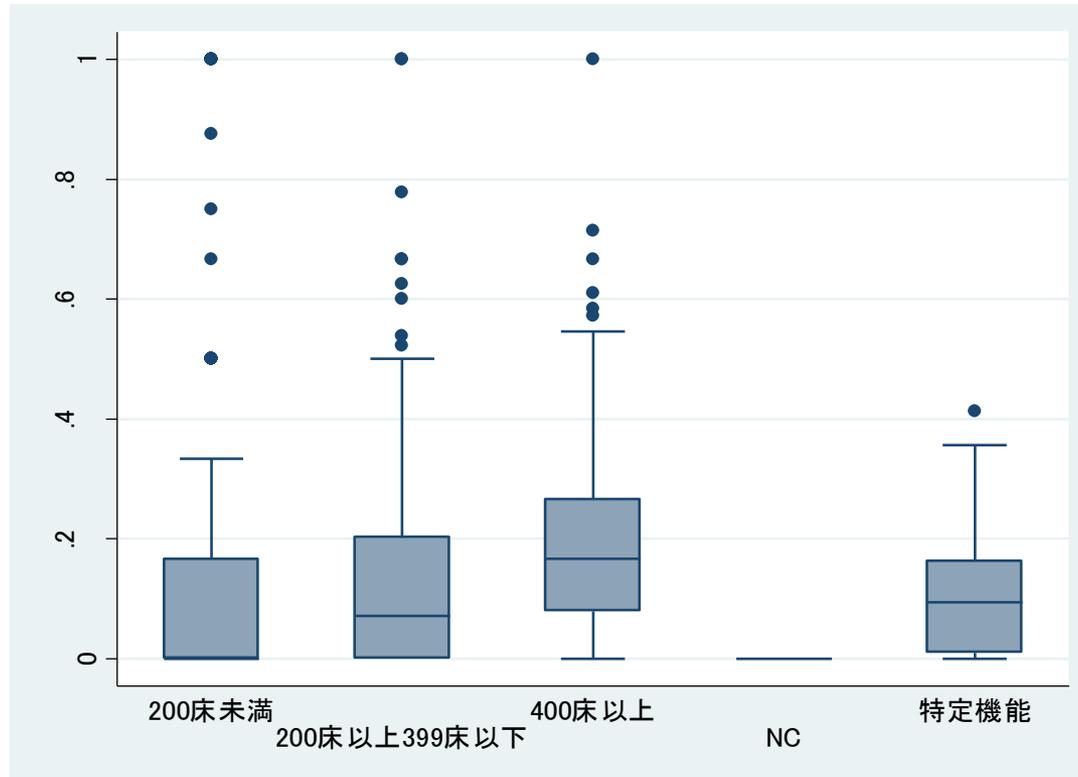
注：心大血管疾患リハビリテーションの算定病院が少ない(173/825)

DPC 040040 肺炎における 抗菌剤平均使用日数



病院ごとの平均使用日数
65歳以上、患者数 $N \geq 5$ の医療機関
静注抗菌剤に限定

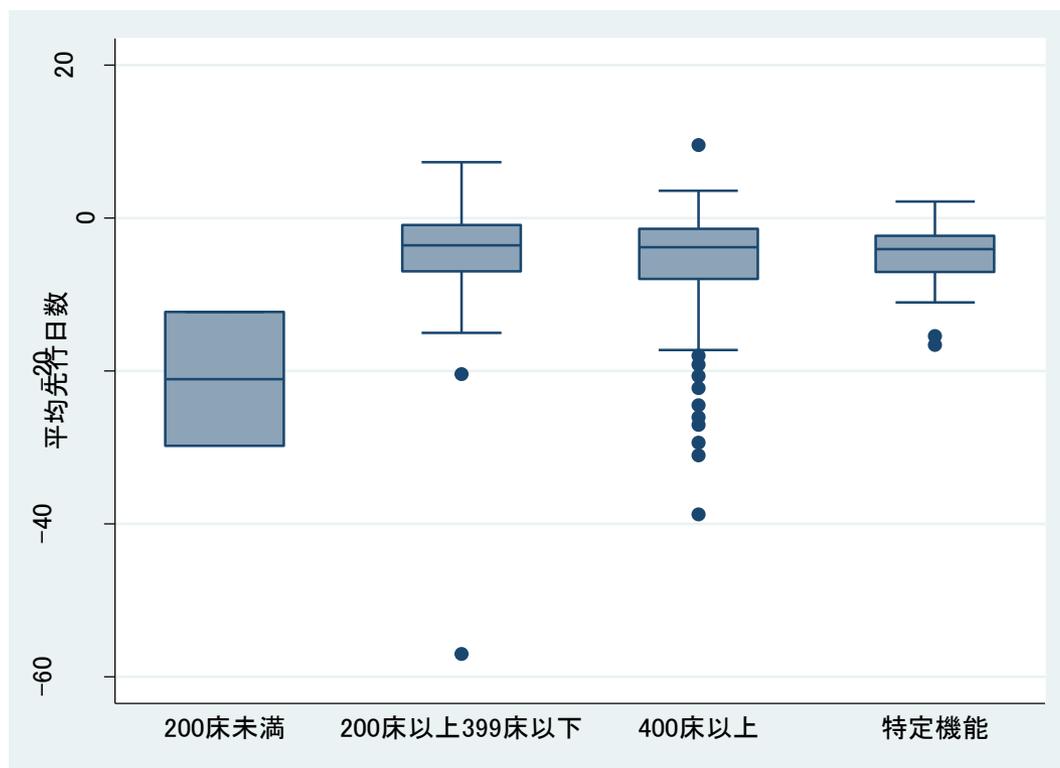
DPC 040040 肺炎における 血液培養頻度



分子: 血液培養が行われた患者数

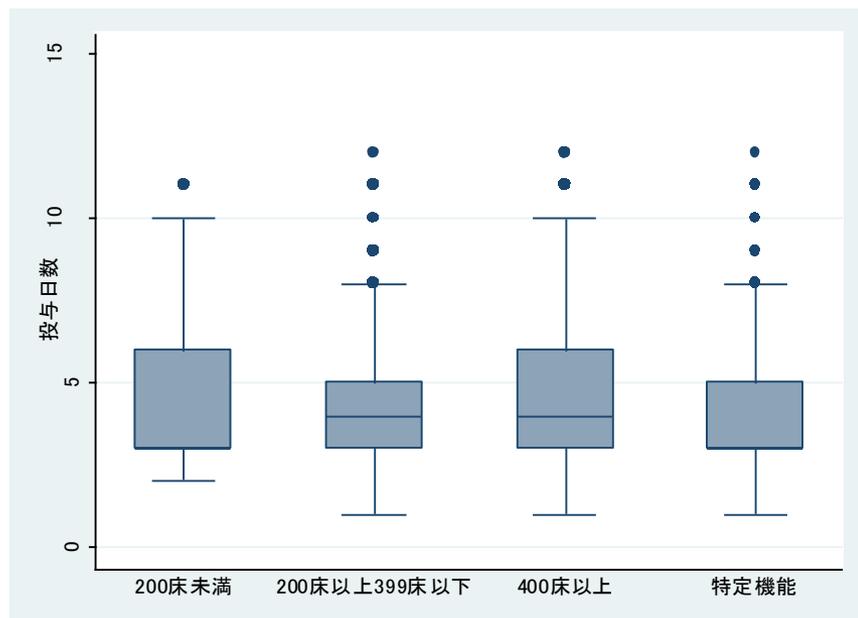
分母: DPC040040で抗菌剤が使用された患者数

肺炎における血液培養のタイミング

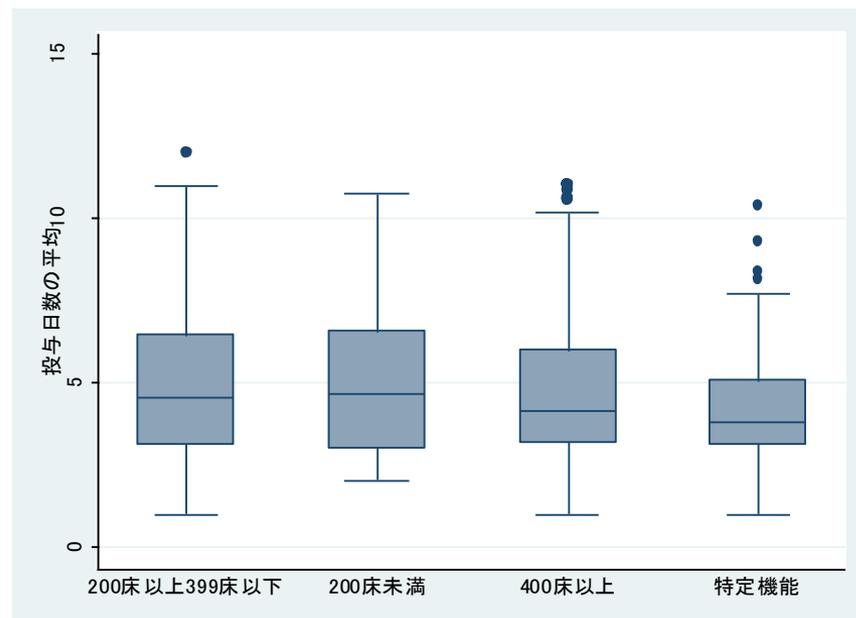


抗菌剤使用開始日－血液培養算定日
プラスが血液培養先行
病院平均 $N \geq 5$

股関節置換術の抗菌剤使用日数

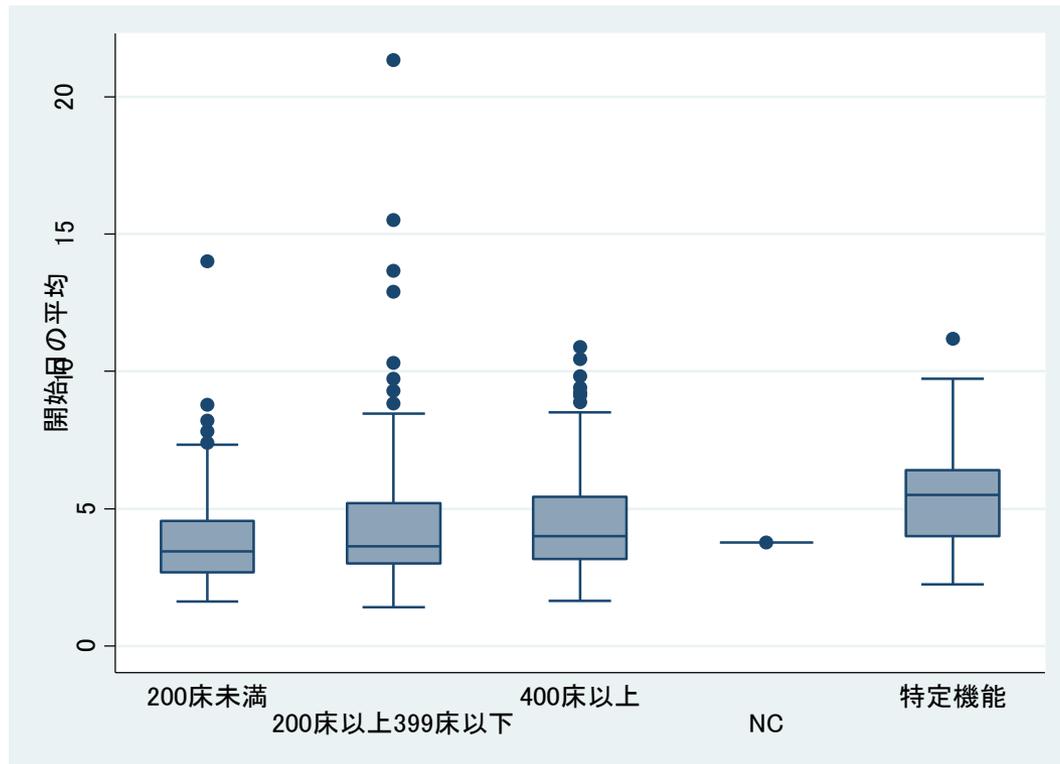


症例ごとの使用日数



病院平均の使用日数

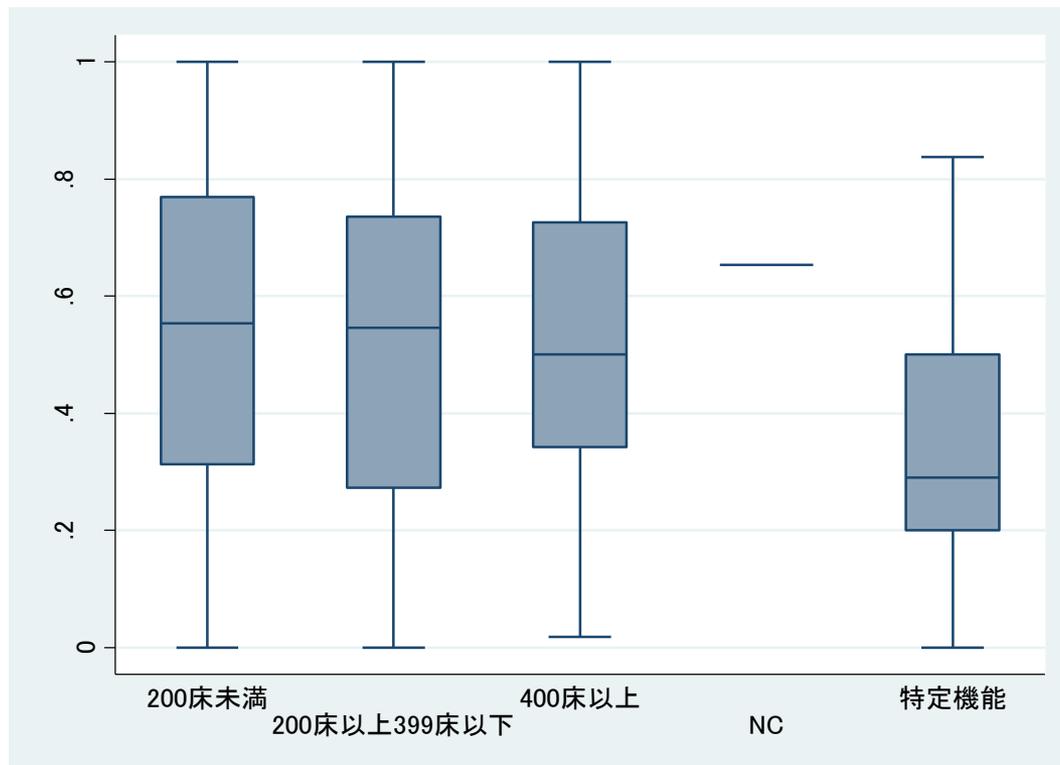
脳梗塞の平均リハビリ開始時期



脳梗塞で脳梗塞でJCS<30、手術・処置2が3, 4に限定
脳血管疾患等リハビリの平均開始日(入院初日を1とする)
対象患者数 $N \geq 5$ の医療機関

手術・処置2が3, 4はエダラボン、tPAで新鮮発症の脳梗塞とみなせる

脳梗塞で入院4日以内にリハビリ開始



分子: 脳血管疾患等リハビリが入院4日以内に開始した患者数
分母: 脳梗塞でJCS<30、手術・処置2が3, 4の患者数 (N \geq 5)

指標公開に関する係数の考え方

- DPC支払対象病院はDPCデータの作成のために、それなりの投資をしている
 - この部分を係数で見るという考え方はどうか
 - 上記の視点に立てば、DPC対象病院すべてに係数がつくということになるが、それでよいか
- DPCデータが公開されることで、地域における医療機関の役割が明確になり、機能分化と連携が促進される
 - 適正な医療資源投入のための仕組みとなりうる
 - 患者及び患者を紹介する他の医療機関にとって貴重な情報となる→患者の視点からの医療の質確保への貢献